

日本酒輸出戦略ビジネスサミット2019

日本酒のさらなる輸出拡大を目的として、令和元年9月24日に「日本酒輸出戦略ビジネスサミット2019」を開催。海外に在住する日本酒の専門家・有識者を講師として、基調講演やパネルディスカッション、分科会を実施し、100名を超える酒類業者らが参加した。

基調講演では、「世界視点から見た日本酒」と題して、訪日観光客が増加している現在、日本酒を世界にアピールする大きなチャンスであること、変化する世の中は日本酒のイメージを刷新する最高の機会であること、海外イベントなどを通じて日本酒の認知度を高めていくことが重要であること等を解説した。

パネルディスカッションでは、使用する酒器にこだわり、日本文化と併せて広めるべき、ワイングラスに注ぐなどもっとフレキシビリティを高めるべきといった日本酒のブランド化に向けたディスカッションが行われた後、活発な意見交換や質疑応答が行われた。

分科会では、英国・香港・タイへ進出するにあたり、注意すべき点等を具体的に解説した。



(基調講演の様子)



(パネルディスカッションの様子)

登壇者



G・タナシエビッチ氏
(マリーナベイ・サンズ総支配人)



吉武 理恵氏
(日英の貿易に携わるコンサルタント)



コリーン・ムイ氏
(香港の酒類教育機関責任者)



鈴木 幸代氏
(タイの酒類輸入会社の代表者)



山下 ロウナ氏
(スペインの日本料理店の代表者)